

長谷川さん

コンセント 代表取締役

村越さん

電通レイザーファクトリー

インフォメーション・アーキテクト、ディレクター

坂本さん

ネットイヤー

インフォメーション・アーキテクト

佐藤さん

AKQA

グループ ユーザエクスペリエンス・ディレクター

奥さん

元レイザーファクトリー、元ビジネスアーキテクト

プロジェクトマネージャー、インフォメーション・アーキテクト

今回のテーマ「集合知」を考えるとき、
これまでのIAのアプローチは通用しない。
クロスチャネル → クロスサービス時代で、
誰が何をどこまで設計するのか？
これを社会全体で考えていかないといいない。

小情報をどう公開するか？
小情報とどう出会うか？
IAの範囲が拡大するなかで、
IAはどのような役割になるのか？

ちと見えるようになった小情報を、
さらにどう見せていくか？
次にどういった小情報が見えるようになるのか？
それを構築するのがIAの役割。

どこにいても小情報が探せるようになり、
自分で小情報を選択しなければならなくなった。
→ 検索のアルゴリズムは小情報をどう選択させるかを
考えている。
試行錯誤でやってきたことが、
体系化され、知識になってきている。

いろんな小情報がメタ化している。
→ 今後のIAには、小情報を俯瞰して
見ることが求められる。

タクソノミー的スキル

と同時に、形に落とす力が必要ではないか？
それは実現させる調整力だと思ふ。

→ PMやコミュニケーションといった意味での
IAのスキルが現場では求められる。

今日の最初から3人目までのスピーカーこそが、
インフォメーション・アーキテクト。
小情報が整理できるのは当たり前で、
そのリソースを使って何をできるかが重要。

IAのスキルは、世の中で生き延びるための、
社会人の基本スキルになりえる。

プロセスは知って当然。
HCD至上主義はイタい。
どんな成果を出すか？
どんなクオリティか？ が大事。

今日の裏テーマは、本当のIAは誰か？
小情報アーキテクトはどこに向かっているか？

IA Summit

日時：4月5～7日

場所：ホール千歳

今日の裏テーマの続きのようは...

「リフレーミングIA」というワークショップがあり、

日本人専用のラウンドテーブルを作る話もある。

英語ができなくてもサポートするので、

ぜひ、ご参加ください！

坂田さん

楽天

UXストラテジスト、エバンジェリスト

まとめ

今回の World IA Day Japan の主旨は、
IA的な発想を持つ、IAじゃない市にフォーカスした。

今日の話が、IA Summit の「リフレーミングIA」に
つながっていくので、ぜひご参加ください！

本日はありがとうございました！！